

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-55℃～+85℃（注1）	保存温度範囲	-10℃～+60℃（注2）	
	電 圧	AC 30 V	使用湿度範囲	相対湿度 95%以下 （ただし、結露しないこと）	
	電 流	0.3 A			
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 気 的 性 能	接触抵抗	100 mA（DC 又は 1000 Hz）で測定する。	100 mΩ以下	○	—
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。	50 MΩ以上	○	—
機 械 的 性 能	耐電圧	AC 100 Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—
	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。	差込力 56.0 N以下 引抜力 5.6 N以上 	○	—
	繰り返し動作	30 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗： 120 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mm、 3 軸方向 各 10サイクル試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3軸両方向 各 3 回試験する。	○		—	
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40±2℃、湿度 90～95%中に 96 時間放置する。	① 接触抵抗： 120 mΩ以下 ② 絶縁抵抗： 25 MΩ以上 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -55→+15→+35→+85→+15→+35℃ 時間 30→ 2～3 → 30→ 2～3分 を 5 サイクル試験する。	① 接触抵抗： 120 mΩ以下 ② 絶縁抵抗： 50 MΩ以上 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	塩水噴霧	濃度 5 % の塩水、48 時間放置する。	はなはだしい腐食がないこと。	○	—
	二酸化硫黄	濃度 25 ppm、 96 時間放置する。 （試験規格：J I S C 0 0 9 0）		○	—
	はんだ耐熱性	リフローの場合：ピーク温度 MAX250℃ 220℃以上 60秒以内	外観の変形及び端子などに著しい ガタがないこと。	○	—
		はんだごての場合：こて温度 360℃ はんだ付け時間 5 秒以内		○	—
はんだ付け性	はんだ温度 240±3℃、浸せき時間 3 秒間のはんだ付けを行う。	はんだ浸せき面の 95 %以上が 新しいはんだでぬれていること。	○	—	
△の数		訂正記事	設計	検図	年月日
	1	DIS-F-006120	TS.00NO	HT. YAMAGUCHI	12.03.26
備考			承認	KJ. KATAYOSE	05.01.05
注1. 通電時の温度上昇を含みます。			検 図	HS. OKAWA	05.01.05
注2. ここでの保存とは、基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表します。			担 当	KT. DOI	05.01.05
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。			製 図	KT. DOI	05.01.05
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目		図番	SLC4-155122-00		
	製 品 規 格 表		製品名	FX12B-40S-0.4SV	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL573-1002-2-00	 1/1